

第22回千葉県障害者技能競技大会 喫茶サービス競技内容

1. 競技内容

競技会場に設けられた競技用店舗において、競技者からの「競技開始」

および「競技終了」の合図により、お客様の入店から退店までの接客

技能を競う。

なお競技用店舗の設定は次の(1)から(4)の通り。

- (1) 競技用店舗はバリアフリー施工された「カフェ」業態とする。
- (2) 時季想定は11月のウィークデー、天候は晴天、時刻は午後3時とする。
- (3) お客様人数は予選1名×2卓、決勝2名×1卓とする。
- (4) 競技用店舗メニュー(資料1)は全5品目とする。

資料1

メニュー

- ☆ ブレンドコーヒー (ホット/アイス)
- ☆ ストレートティー (ホット/アイス)
- ☆ ミルクティー (ホット/アイス)
- ☆ レモンティー (ホット/アイス)
- ☆ クッキーセット (ドリンク付)

ベイスайд カフェ

2. 競技時間

① 予選 1 競技 8 分程度 × 各選手 2 回行う。

② 決勝 「①予選」のうち指名された成績上位者のみ

1 競技 8 分程度 × 各選手 1 回行い順位を競う。

※ 競技時間および競技回数が参加人数によって変更となる場合がある。

3. 競技課題

競技課題は下記 (1) から (8) までのお客様の入店から退店までの流れを

競技者の流儀 (やり方) により行うこととして、一連の接客技能を採点する。

(1) 競技者の開始合図「〇〇番 (ゼッケン番号)、〇〇〇〇 (競技者氏名)、

競技開始します」により開始する。

(2) 入店したお客様を客席へ誘導する。

(3) 客席のお客様にグラスに水を注ぎ、紙おしぼりと一緒に提供する。

(4) お客様から注文をうかがい、会計票 (資料 2) に記録する。

(5) 会計票をドリンクカウンターに提出し、お客様の注文内容を伝える。

(6) お客様に注文品を提供し、会計票を客席に置く。

(7) 退店するお客様を見送る。

- (8) 競技者の終了合図「〇〇番(ゼッケン番号)、〇〇〇〇(競技者氏名)、
競技終了します」により終了する。

資料2

会計票

テーブル番号	人数	担当者
	名	

品名	数量	備考
ブレンドコーヒー(ホット)		
ブレンドコーヒー(アイス)		
ストレートティー(ホット)		
ストレートティー(アイス)		
レモンティー(ホット)		
レモンティー(アイス)		
ミルクティー(ホット)		
ミルクティー(アイス)		
クッキーセット(ドリンク付)		

ベイサイド カフェ

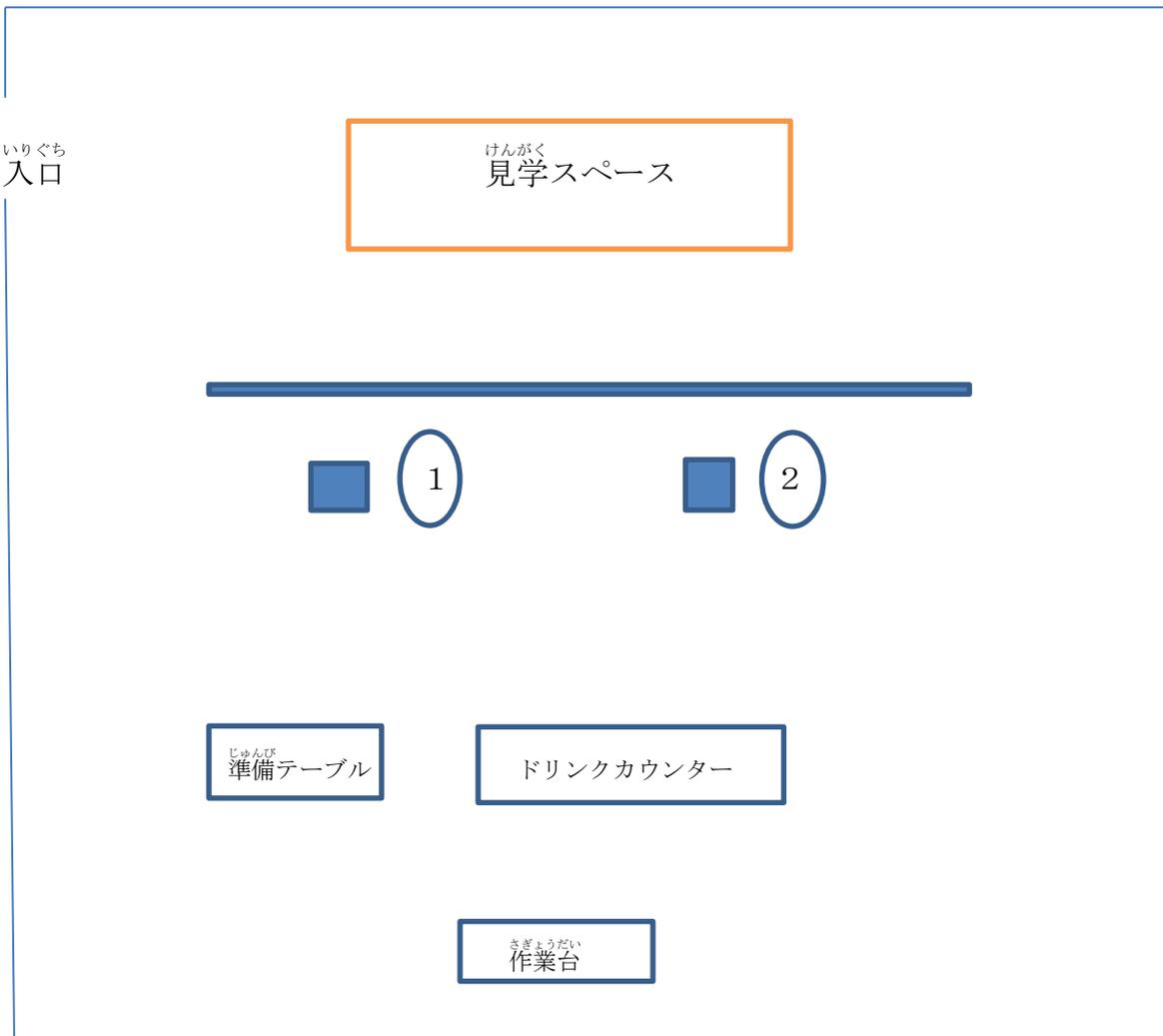
4. 採点方法

店舗の印象を左右する「身だしなみ」や「立ち振る舞い」、「言葉遣い」は

得点の比重が高く、さらに接客時の自然な振る舞い、サービスの熟練度や

サービスの丁寧さ、スピード感がお客様に居心地の良さや寛ぎのひとときを
供与できたかなどが加点のポイントとなる。

5. 競技会場配置図 (イメージ)



※決勝のテーブル配置は1番テーブルのみを使用し、イスを2席配置する。



6. 競技用機材

競技会場に配備された機材類は下記の通り。

(1) 客席

テーブル番号表示札、メニュー、ナプキンスタンド

(2) ドリンクカウンター

カップ類、ソーサー、ティースプーン、グラス類

コースター、ストロー、メニューに関連する食材

(3) 準備テーブル

サービストレイ、ウォーターピッチャー、タンブラー

ダスター、会計票、ボールペン、伝票ホルダー

7. 競技者が準備するもの

料飲接客業にふさわしい服装（エプロンなどは各自用意）

8. 注意事項

競技者は競技大会への参加に際し、次の項目（1）から（7）に留意する。

(1) 競技開始前に競技会場において身だしなみの確認を行う。

(2) 身だしなみの確認後に競技の説明を行う。その時に、会場下見できる。

デモンストレーションは実施しない。

(3) トイレは競技前に済ませること。

(4) 体調不良等、身体に異変を感じたら速やかに競技委員に申し出ること。

(5) 競技中に器材に不具合が生じたら速やかに競技委員に申し出ること。

(6) その他、競技中に不測の事態が起きた場合には、必ず競技委員の指示に従って行動すること。

(7) 競技者は競技にあたり主催者が配置している要員以外の者と接することはできない。携帯電話等によるメール連絡を含む。(携帯電話等を控室で見ている場合は、その内容を確認することがある。) 上記に反した場合は、競技に参加できなくなることがある。

第22回千葉県障害者技能大会

きっささーびすきょうぎ きょうざいかいじょうはいちず

喫茶サービス競技会場配置図（イメージ）

